

フリースペース型適応指導教室「とまり木教室」を紹介します

教育総合研究所では、学習意欲はあるが学校に通うことが困難な不登校児童生徒のために、適応指導教室「ほほえみ教室」をスイトピアセンター学習館7階に開設しています。

さらに、今年度4月より、学校に通えておらず、家族以外の人との関わりをもていない児童生徒を対象に、自宅から一歩踏み出すきっかけとなるよう、初期段階におけるフリースペース型の適応指導教室「とまり木教室」を開設しています。

<開設場所と日時>

◇日にち：月、水、木、金曜日（祝日・休館日を除く）

◇時間：10:00～14:00

◇場所：スイトピアセンター 学習館4階

<とまり木教室の1日(例)>

1人タイム	10:00～11:00
コミュニケーションタイム	11:00～12:00
昼食	12:00～12:30
自由タイム	12:40～13:50
振り返りタイム	13:50～14:00



<お問い合わせ> 教育総合研究所 学校支援センター
スイトピアセンター学習館7階 (TEL 74-6666)
(平日9:00～16:00 土曜 9:00～12:00)

こんな思いをもっているあなた。
気軽に「とまり木教室」をのぞいてみませんか？

- 「しばらく休んでいて、学校に行きづらい…」
- 「今は、先生や学級の仲間と会いづらい…」
- 「誰かに話を聞いてほしい…」

「とまり木教室」での過ごし方はこんな感じ

「好きなこと」「やってみたいこと」を自分で決めて、自分のペースで！

- 自分が決めたことを、自分のペースで行いながら過ごすことができます。(集団での活動の時間もあります)
- 滞在時間は自分で決めます。(好きな時に来て、好きな時に帰ります)
- 服装は自由です。

例えば…

午前中の1人タイムで、クロスワードパズル。
昼は相談員と一緒に、持ってきた弁当を食べて、
午後、相談員とオセロしてから帰宅。

ある子は…

1人タイムは相談員とペーパークラフト制作。
その後はみんなでトランプ。
お昼に、迎えの保護者と一緒に帰宅。

自分の興味のある活動をする

絵を描くことが好き
・自由画 ・塗り絵 など

何かを作る活動をしたい
・ペーパークラフト ・木製組み立て工作 ・ジグソーパズル
・アイロンビーズ ・簡単な料理 など

他の人と楽しめることがしたい
・ボードゲーム ・トランプ ・オセロ ・カードゲーム
・楽器で演奏 ・バドミントン ・卓球 など

学習に集中したい
・ドリル ・ワーク ・タブレットを使った学習 など

大垣市の部活動地域移行基本構想を策定しました

これまで中学校で行われてきた部活動は、生徒にとってスポーツ・文化芸術等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技能の向上、責任感等を育む学校教育の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動です。

しかし、少子化による生徒数や部活動数の減少、専門的な指導者ができる顧問(教員)の不足等により、学校部活動を現行のまま維持することが困難になってきています。

そこで、市では、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を将来にわたり確保すること等を目的に、学校部活動を「新たな実施主体(*)」による活動(地域クラブ活動)に移行するため、その基本構想を策定しました。

*新たな実施主体:少年団や競技団体等、移行後の活動を担う団体

この構想では、大切にしたい考え方(基本理念)を「競技志向のみに偏ることなく、スポーツ・文化芸術活動に親しむもの」「多様な機会を確保し、豊かに生きる資質・能力を育むもの」と決めました。部活動の良さを継承した「地域クラブ活動」への移行を目指しています。

令和6・7年度は、準備が整った部活動において、地域クラブ活動をスタートさせ、実証事業を進めていきます。

令和8年度には、全ての休日の学校部活動を地域移行することを目標としています。

<お問い合わせ> 教育委員会事務局
社会教育スポーツ課(TEL 47-8038)
学校教育課(TEL 47-8034)



大垣市部活動
地域移行基本構想

大垣市
大垣市立中学校
部活動の地域移行

保護者に配布したチラシ

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.26

発刊
令和6年
6月

上石津学園が開校しました

令和6年4月8日、西濃地域初の義務教育学校である大垣市立上石津学園が開校しました。

祝砲となる打ち上げ花火で始まった開校式では、教育長による開校宣言ののち、市長から新しい校旗が授与されました。式典では、岐阜県立大垣商業高校吹奏楽部の演奏に合わせ、校歌などの全校合唱を行ったほか、同吹奏楽部による開校記念演奏も披露され、開校に華を添えていただきました。

上石津学園では、地域の願いや子どもたちの強み、課題から、3つの特色ある教育を行っていきます。

1つ目は、「自ら学び、考える力を育てる教科の学習」で、確かな学力の育成を目指します。

2つ目は、「探究的な学びを身に付け、実践力・推進力を育てる総合的な学習の時間」で、児童生徒自身が、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力の育成を目指します。

3つ目は、「豊かな道徳性や人間性を醸成する教育活動」で、義務教育学校の持ち味である幅広い年齢層を生かした異年齢集団での活動を通し、様々な人となりが、関わりながら生きる力の育成を目指します。



現在、上石津学園では、ランドセル姿と学生服姿が混ざり合った登校風景や、1年生の話を9年生が腰をかがめて聞く風景など、これまでにない新鮮な風景が見られます。そして、それが、少しずつ日常となってきました。

大きな変化の中で迎えた新学期でしたが、新たなものを創り出し、良い学校にしていこうと、児童生徒と教職員が、元気、やる気に満ちています。



題字:石田 仁 大垣市長

…義務教育学校とは…

1人の校長のもと、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、学年区分の柔軟な採用のほか、系統的かつ連続的な教育課程を編成・実施できる学校です。

上石津地域の4小学校、1中学校で 閉校記念事業を行いました

今年4月に、上石津地域の小学校4校(牧田・一之瀬・多良・時小学校)と上石津中学校を統合・再編し、新たに義務教育学校「上石津学園」が開校しました。閉校した各学校では、子どもたちや地域の方々とともに、心に残る活動をしよとアイデアを出し合い、様々な閉校記念事業を行いました。

牧田小学校

卒業生有志による、階段アート、黒板アート、ポストイットアートの制作、そして昭和18年からの卒業写真約90枚が、校舎を使って展示されました。400人を超える来校者があり、久しぶりの校舎を懐かしむ声、思い出話が聞こえてきました。また、地域との合同運動会後にバルーンリリースを行いました。「ありがとう牧田小学校」のかけ声とともに、約600個の風船が一齐に空に舞い上がりました。色とりどりの風船が空高く伊吹山のほうへ飛んでいく様子は、風船一つ一つに一人ひとりの母校の思い出と感謝の気持ちが乗っているようでした。



「ありがとう牧田小」の
思いをのせて
～バルーンリリース

私たちはいつまでも
牧田小の卒業生
母校に帰ろう～
スクールカミングデー

一之瀬小学校

最後の運動会の日、ドローンによる写真撮影を実施しました。地域の皆様に参加していただき、総勢160人以上でグラウンドにつくった「ありがとう」の文字と校舎を写真に収めました。また、記念誌「しゃくなげ」の製作は、「一之瀬小の歩み」を振り返る営みとなりました。沿革史を基に年表を再構成し、懐かしい校舎や行事、年ごとの卒業生の集合写真などを集め、過去の文集から児童の作品を選びすぐって掲載しました。関係の皆様からいただいたメッセージとともに、いつまでも心に残るものとして、大切にしたいと思います。



地域の方と一緒に作った人文字



親子で閉校記念作品作り

多良小学校

令和6年3月9日に、閉校記念式典を開催しました。当日は、3月としては珍しく雪が舞う日となりましたが、多くの方々にご参加いただき、地域の方々との強い絆で結ばれ、楽しく生活できた思い出は永遠であることを実感しました。

第2部の「感謝の会」では、子どもたちが多良小自慢の発表をしました。これまで学校を支えてくださった皆様に感謝の思いを伝える姿は、とても心を揺さぶられるものでした。また、思い出のビデオ鑑賞や、迫力満点だった参加者全員での校歌の大合唱。改めて人は人に支えられていると実感することができた式典となりました。



閉校記念式典 校旗返納



感謝の会の様子

時小学校

夏休みに、時小デイキャンプを行いました。たくさんの方が見守る中での川遊びでは、「小さな学校大きな家族」を実感しました。また、カレーライス作りやキャンプファイヤー、夜の校舎で「時小きもだめし」などを楽しみ、心に残る思い出となりました。

3月には、時地区文化祭を実施しました。子どもたちは地域の方と伝承遊びを楽しみ、多くの方に校舎内を見学していただくことができました。雪の中でのメモリアル花火も忘れられない思い出です。

地域の方とともに創りあげた閉校記念事業の数々から、時地区の方々の学校に対する熱い思いを感じました。



たくさんの方が見守る中で川遊び



メモリアル花火

上石津中学校

上石津中学校閉校に際し、PTAの皆さんを中心に、閉校記念誌を作成しました。各年代の卒業生や歴代校長からのメッセージ、上石津中学校の歴史や様々な事柄の変遷など、50年の歩みを振り返ったものとなっています。



閉校記念誌